基本 方針			担当課	実 施 目 的	事業等の概要	経費合計 (円)	成 果 と 課 題	総合評価	合 今後の 西 方向性
	1. ライフ ステージに 応じたス ポーツの推 進	いきいき 健康づく	スポー ツ・ 生涯学習 課	教室や大会を開催することによ	ニュースポーツ教室 5回 ペタンク教室1 【大会】 市民に軽スポーツの発展・普及を図るために	<u> </u>	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●様々なスポーツの道具を購入したのでこれを生かした教室、大会の実施が必要となる。 <令和4年度の成果と課題> ○複数の軽スポーツを実施することができ、またコロナ対策を講じながら大会を実施しすることができた。 ●これまでに購入してきた用具を活用した教室、大会の実施が必要となる。	A	継続
Ⅲ 健康で明るく豊			ツ・	増進・参加者相互の親睦を深め る。また、官庁街通り(通称「駒	秋のスポーツ行事として定着しており、市外のマラソン・ジョギング愛好者が日本の違道」をメインコースとした本大会を通して、スポーツの普及・振興を目的としている。 令和4年度は、コロナ禍のため規模を縮り者に限定する等の対策を講じ開催した。	百選「駒街 参加者の生涯 	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、準備作業の施設解体に伴い、用具の保管場所の移動等を行った。準備作業の場所や方法の見直しをする必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○コロナ禍の現状に合った方法で、参加者やスタッフの安全安心を確保しながら開催することができた。 ●今後の状況を注視し、時代に見合ったより良い方法を模索する必要がある。	A	継続
量かな生活を送る		市民屋内大運動会	ツ・	「市民ひとり1スポーツ」を目指し、全地域、各層の住民を対象とした市民屋内大運動会を開催することにより、スポーツ人口の拡大と住民の体力づくり、健康づくりを推進することを目的とする。	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の ※実行委員会の決定により中止	ため中止】 0	【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止】	-	継続
~ることができるスポ-		市総合体育大会	ツ・	「市民ひとり1スポーツ」を目指し、市内全地区・名層住民を対象とした総合体育大会を開催することにより、スポーツ人口の拡大と住民の体力作り・健康づくりを推進する。	グラウンドゴルフ・サッカー・ソフトボール ン・ゲートボール・ パークゴルフ	・バドミント	〈令和3年度の課題〉 ○:成果、●:課題 ●今後も参加地区が増えるよう、地区体育振興会との連携 を図っていく必要がある。 〈令和4年度の成果と課題〉 ○各競技団体から協力を仰ぎ通常開催することができ、各 地区のスポーツ人口の拡大や交流を推進することができ た。 ●参加地区が増えるよう種目ごとのルールを見直す他、地 区体育振興会との連携を図っていく必要がある。	A	継続
リツ		学校体育 施設開放 事業	ツ・	一般市民が各種のスポーツ活動を実践できる場所を確保するため、学校体育施設を開放し、スポーツ活動の普及とグループの育成に努め社会体育の振興を図る事を目的とする。	市民のスポーツの機会と場の提供のため、設、主に体育館と校庭を一般に開放し、スオ及と地域の運動を主として活動するグルースや健康増進、及び社会体育の振興を図る。	ペプラ の普	〈令和3年度の課題〉 ○:成果、●:課題 ●なし 〈令和4年度の成果と課題〉 ○コロナ防止対策について、変更があった際はその都度周知し、利用者や学校の安全安心を確保しながら活動してもらうことができた。		継続
			の意見> というもの	」 Dは事故等が付きもので大変だと思	うが、様々な対策を練りながらスポーツ環境	<b>と発展させていただきたい。</b>			

基本 方針	分野区分	事業名	担当課	実	施	目的	勺	事業	等の	概	要	経費合計(円)	成 果 と 課 題	総合評価	今後の 方向性
Ⅲ健康で明	1. ライフ ステージに 応じたス ポーツの推 進	ル開放事 業	課	児童・生徒 遊び場所のの 季スポーツの るため、一ツの るとする。	保、並機会と プール	びに 場所 を を開か	市民の夏 を提供す 女し、夏	市内小学校3校にて開放 度) 開放中の事故等に対応す もらい事故防止に努めた。			は各校概ね10回程	·	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●今後のプール開放に向けては、感染防止体制はもとより、年々難しくなっている監視員の確保策についても検討しなければならない。 <令和4年度の成果と課題> ○監視員も十分でない中、コロナ防止対策を取りながら、可能な範囲で開放することができた。 ●監視員の確保や薬品の管理等、学校と連携し協力を得ながら進めていく必要がある。	Α	継続
るく豊				<委員からの ・学校プール 【スポーツ・ す。	の監視	員集ぬ			ていると	ころ	もあれば、専門的	に3、4人だ	けを集めているところもあって、何とか確保できていま		
かな生活を送るこ		少年団	ツ・ 生涯学習 課	図るとともに	全な青 、回りな 育成を	少年0 個々0 がら、	D育成を D資質や 次代を	・ミニバスケット競技会上	十三地区	大会(	168人)		<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題 ●各種競技での活動量の格差から不満のある単位団もあるため、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しつつ単位団の活動を増やす取り組みを行う必要がある。 <令和4年度の成果と課題> ○新型コロナウィルス感染症について具体的な対策を講じ、各大会に選手の派遣を行うことができた。 ●各種競技での活動量の格差から不満のある単位団もあるため、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しつつ単位団の活動を増やす取り組みを行う必要がある。	Α	継続
とが出来				【スポーツ・	と令和 生涯学	4年月習課回	三答】 令	が同じ理由は。 か日じ理由は。 和4年度は令和3年度より= 舌動量に格差があることもま				会の参加も増	えてきているが、まだまだ感染症を広げないように取り組		
るスポーツ		体 常 ー ツ す る 表 彰	ツ・ 生涯学習 課	市に所在する ツの振興に功 ポーツ活動に	者を含めて	む。) 体育、 を 優秀な	並びに スポー 各及びス は成績を	この表彰は永年に渡り社び各種目スポーツ団体の育県大会以上の大会において般、大学生、高校生に贈り学、高校な該当者、該は当者、び前がはがいていたが、表が、教育委員会が受賞者	成指導等 各競技で れる賞 体の推薦 市スポー	に優、をがない	した指導者や、 は成績を収めた一 内の競技団体、大 頂し、推薦された	·	<令和3年度の課題> ○:成果、●:課題●なし ●なし <令和4年度の成果と課題> ○受賞者を取りこぼさないよう情報収集をこまめに行い、 初めて障害者スポーツの受賞者を顕彰することができた。 ●検討委員会の開催時期について早めるなど検討する必要がある。	Α	継続

基本 方針	分野区分	事業名	担当課	5	€ 方	施 目	的			事	業	等 σ.	概	要		経費合計 (円)				成	果	٤	課	題		総合評価	今後の 方向性
Ⅲ 健康で明るく豊かな生	2. 競技ス ポーツの推 進		課	大会や事業 ヘスポーツ	を実 活動 進と	施する の場る スポー	を提供し、市 -ツ精神の高	道マラ 出。 選抜 市地区	ソン大会 高校相撲	実行 十和日 会連行	委員会 田大会	等の3 実行委	団体に	こ負担 ・市ス	・とわだ駒街 金として支 ポーツ協会・ 等の 7 団体に	11, 643, 266	●相ソの◇●相ソの◇●相ソの◇●相ソの◇●相ソの◇●相ソの◇●相ソの◇●相ソ	型ぎシ営和型ぎシコ、ヤが4コ、ヤ	ナ助デ惧度ナ助を染ってればいる。	こ返タる果こ返タよ還ン。とよ還ン。 誤じる	至な 果りこ	会の紹介では ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	小る来ないる。		い事 業 ば く 、 事 ば く 、 事 ば く 、 ず で う 後 が れ が れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ	A	継続
活を送ることが		選抜高校 相撲十和 田大会	ツ・ 生涯学習	き、夏のイ この大会を 市を全国に	ベン 通し PRす	トとし て相! ると。	D選手を招 して第二を 受の街十十十 ともに、 ともに、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	: ※実行   					拡大的	方止の	ため中止】	C	【新型	<b>型</b> 그 ㅁ	ナウイル	ルス原	<b>蒸染</b> 疽	E感染:	拡大原	防止のため中	中止】	-	継続
出来るスポーツ		全日本大 学選抜相 撲和田 大会	ツ・ 生涯学習 課	招いて、夏 したこの大 和田市を全	のイ 会を 国に	ベン 通し PRする	の優秀選手を トとし撲の街十 て相との街十 るとと が市の活性化	※実行					拡大阶	方止の	ため中止】	С	【新型	型 그 ㅁ	ナウイル	ルス原	<b>蒸染</b> 疽	<b>Ē感染</b>	拡大	防止のため中	<b>中止】</b>	-	継続

基本 方針	分野区分	事業名	担当課	実	施	目	的	事	業	等	の∦	既	要	経費合計 (円)	成 果 と 課 題	総合評価	合 今後の 面 方向性
Ⅲ 健康で明	3. スポー ツ指導者の 養成と確保	指導者の	スポー ツ・ 生涯学習 課	指導・助言 成・確保に	のでき 努める しとか	る指導 ととも いら気車	た、市民 MECスポー	リーダーとして活躍	できる 員を スポー 育成	る人材を を嘱し、 ーツ活動 者の研修	を育成 、各地 動への 修参加	する。 区の 参加	。 スポーツ活動の を図る。	0	<令和3年度の課題>	A	継続
あるく豊				【スポーツ	<ul><li>生涯</li></ul>	E学習i	果回答】若	ポーツ振興もないと思い指導者が入って来で きれば、部活動にも加	こくれ	ないと	いうの	つはあ	ります。子ども	に指導する指	導者も育成する必要があります。		
かな生活を送る			ツ・	委員相互に、市民の進に寄与す	スポー	-ツ活動	めの普及促	市民へスポーツのツの普及推進に努め動を促進する。 いきいき健康づく力並びに講師として り事業:指導回数50	ると り事 指導(	ともに、 ともに、 を を あた・	、指導 種大会 った。	助言 <i>。</i> •講	及びスポーツ活 習会への運営協	242, 000		A	継続
	4. スポー ツ施設の整 備・充実		スポーツ・生涯学習課	的な施設の の修繕、備 施設機能の	向上及 管理運 品購入 維持、	び効率 営営、対 ・更新 長寿台	を的、効果 せびに施設 新等により お化及び安	体育施設等につい定、関係法令・例規行った。(十和田市会、十和田市会、十和とさションズネットワー施設の修繕、備品、充実に努めた。	、業 <sup>3</sup> スポ- と活 <sup>1</sup> クク	務基準 −ツ協: 生化公 ラブ)	書等に 会、十 社、セ	従っ 和田i ライ:	て管理業務を 市サッカー協 オコミュニケー	185, 429, 466	〈令和3年度の課題〉 ○:成果、●:課題 ●修繕や備品・設備等更新の必要性が多く、国民スポーツ大会の競技開催も予定されていることから、中長期的な改修計画、施設の個別の計画等の検討が必要である。 〈令和4年度の成果と課題〉 ○故障等生じた施設設備について、速やかに修繕対応を行った。 ●大規模な修繕、緊急的な修繕を要する案件が増えているため、老朽化等してきているものについて、計画的な更新を検討、実施をしていく必要がある。	A	継続
ッ				・50mプー	管理運・生涯 ・生涯 ルを無	営営に限 学習記 乗料で係	果回答】監 きえる施設	か。 視員が集まらないこと まなかなかないので、 声がけしてみてはどう	ぜひ					開設できてい	<i>な</i> い。		